

国語

第2学年

育成を目指す資質・能力 【論理的・建設的批判能力】
【主体性・積極性】

単元名

説得力のある表現とは？

教材文「君は『最後の晚餐』を知っているか」

【単元の概要】

生徒は初めて出会う評論「君は『最後の晚餐』を知っているか」を読むことで、これまで知らなかった絵の魅力に引き込まれていきます。これまで学習した説明文や鑑賞文にはない説得力を感じます。「説得力の正体は何か？」ということ、知識構成型ジグソー法を用いた協調学習で解き明かし、パフォーマンス課題評論「君は〇〇を知っているか」を書くことになげ、生きて働くことばの力を実践する活動にします。

学習指導要領における領域・内容

B書くこと ウ

C読むこと ウ、エ

他教科等との関連

美術

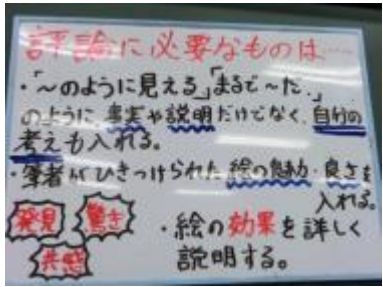
◆単元の目標

評論を読む楽しさを味わいながら、筆者の考える「最後の晚餐」の魅力や絵画の見方を読み取るとともに、評論の特徴である根拠を明確にして自分の考えをまとめる力、根拠をもって相手を納得させる文章を書く力を育てる。

◆単元の展開（全6時間）

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
課題の設定（1）		
「最後の晚餐」をどんな絵だと思えるか一言で書く。	<p>○怖い絵だと思う。</p> <p>○全体的に暗くて人々の表情から寂しい絵だと感じる。</p> <p>絵の初見の感想を語り合うことで、絵に対する興味・関心が高まっている。</p>	<p>筆者の評論と自分たちの鑑賞文との違いを考えるを通して、単元の課題を発見するための活動</p> <p>【美術】第2学年での鑑賞の学習を踏まえる。</p> <p>■絵画「最後の晚餐」を見せ、テンポよく全員に一言コメントを発表させる。</p> <p>■1年次の国語科での鑑賞文を書く単元での学習を想起させる。「絵の分析」の6つの観点を提示して、鑑賞文を書かせる。 ① 印象② 構成 ③ 色彩④ 音 ⑤ 対象 ⑥ 作者の思い</p> <p>■本文と自分たちの書いた鑑賞文との違いを生徒たちの言葉で語らせる。</p> <p>■評論を読むことで評論の書き方を学び、実際に夏休みに評論を仕上げるというゴールイメージをもたせる。</p>
これまで学んだ絵の分析の方法を使って鑑賞文を書く。	<p>私は「最後の晚餐」を怖い絵だと感じました。なぜなら、晚餐といいながらも誰も食事をしていないし、言い争いをしている人もいるからです。キリストを中心にして邪悪な空気が漂う雰囲気を感じました。</p> <p>1年次の学習を想起し、鑑賞文を書こうとしている。</p>	
教材文「君は『最後の晚餐』を知っているか」①～⑨段落を読み、自分たちの書いた鑑賞文と評論を比較し、その違いを見付ける。	<p>○この評論を読むと私たちの書いた鑑賞文と違うね。</p> <p>○筆者は美術の専門家だから「最後の晚餐」についての知識があるんじゃない？</p> <p>○「最後の晚餐」についての僕たちの知らない情報があったよね。</p> <p>○評論家の文章って説得されるところが多くておもしろいね。</p> <p>評論に対する興味が高まるとともに、違いを見付けようとしている。</p>	
相手を説得する評論を書くために評論を読もう。 パフォーマンス課題 評論「君は〇〇を知っているか」を書こう。		
【知識構成型ジグソー法】		
情報の収集、整理・分析（1）		
鑑賞文と評論の違いについて事前の自分の考えを書く。	<p>○どう違うかと言われて改めて考えると難しいなあ。</p> <p>○まずは、改めて評論の内容をしっかりと理解しないと、違いを考えるのは難しいね。</p>	<p>鑑賞文と評論の違いを見付けるといいう課題に向かい、まずグループ毎に「最後の晚餐」に用いられる特徴的な3つの技法の解説箇所を読み取り、それらを解説し合い、話し合う中で、鑑賞文と評論の違い、評論に必要なものをつかませる活動</p>

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
エキスパート課題 「評論家になって、評論を読み解くカギとなる三つの技法を伝えよう」		
<p>3つの技法がどのようなものであり、筆者がどのように評価をしているかを読み取る。</p> <p>A 「解剖学」の分析 B 「遠近法」の分析 C 「明暗法」の分析</p>	<p>○Aでは、絵に描かれている手に注目して見ると分かる。まるで手の見本帳のように手が心の動きを表しているんだ。</p> <p>○Bでは、部屋の奥行きを感じさせ、消失点がキリストの額にあることから主人公であることを示す設計図のような絵と言えるんだ。</p> <p>○Cでは右側に光、左側に影になり、現実の光の方向と合致していて、あたかも本物の食堂の延長にあるかのように見えるんだ。</p> <p>それぞれの内容についての理解が深まるとともに、他の内容についての関心が高まる。</p>	<p>■ 評論「君は『最後の晚餐』を知っているか」を読み解くカギとなる三つの技法を三つの資料にして、それぞれのグループでのA、B、Cのエキスパート活動で、考えをまとめさせる。</p>
ジグソー課題 「鑑賞文と評論の違いは何か説明しよう」		
<p>クロストークを行う。各班の答えを出し合い、仲間の考えを聞き合う中で、評論の特徴を整理する。</p>	<p>○内容が分かってくると、鑑賞文との違いも分かってきたよ。評論は根拠を示しながら、自分の考えを述べているね。</p> <p>○私たちが書いた鑑賞文は絵の感想や思いを伝える文章だったけど、作者の書いた評論は、絵の専門家として読み手に驚きや発見を与え、絵の魅力に気付かせる視点で書いてある。</p> <p>○評論は自分たちでは気付かない絵についての情報や絵の見方を伝えてくれて、新しい「最後の晚餐」の魅力に気付かせてくれる。</p> <p>読み取った内容を基に、鑑賞文との違いを話し合い、評論に対する理解が深まってくる。</p>	<p>■ ジグソー活動には、各エキスパート活動でまとめた担当資料のポイントを紹介し合いながら、前時に書いた「鑑賞文」と筆者の書いた「評論」を比較して文章としての違いを明らかにさせる。</p>
<p>振り返りで、自分の考えをまとめる。</p>	<p>○評論とは、根拠を示しながら、自分のものの見方や考え方を書いた文章だね。また、読み手に驚きや発見、共感、役に立つ、もっと知りたくなるよう、書きぶりも工夫された文章だということが分かった。</p> <p>評論に必要な要素に気付いている。</p>	<p>■ クロストークで出し合った考えを基に自分の言葉でまとめさせる。</p>
整理・分析・まとめ (1)		
<p>結論部分を読み、修復前と修復後の絵の「全体」と「細部」を比較して、違いを説明する。</p>	<p>○最後の10行目からを読んで、筆者の論理の展開の仕方に驚いた。</p> <p>○解剖学、遠近法、明暗法の視点から鑑賞したり、分析したりしていたけど、この修復で細部が剥げ落ち、ぼんやりした形の連なりだけが残ることによって、絵の全体をより明快に見えるようになった、と作者は言っている。その評価の仕方がおもしろかった。こんな斬新な評論を書いてみたいな。</p> <p>○僕は、修復後の絵は、奥行きが感じられるなと思った。筆者は、修復して細かい部分が剥げ落ちてしまうことで、逆に、これまで細部に目を奪われていた絵の全体を見られるようになったことに注目していることが分かるよ。</p> <p>結論部分を読むことで、さらに、評論の書きぶりの工夫を見だし、自分の評論に使いたいという意欲が高まっている。</p>	<p>前時の学習と合わせて、評論文の要素や構成、説得力のある文章にするための工夫を整理する活動</p> <p>■ 複数の観点で比較し、グループで修復前と修復後の違いを説明させる。</p>

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<p>自分たちが評論を書く上で、取り入れたいことを出し合う。</p>	<p>○序論では、基本的な情報を述べて、本論では、読み手が知らない驚きの見方や自分が感じた魅力を、根拠を示しながら観点ごとに伝える。さらに筆者は、結論で「残念なことに」という逆転の発想からまとめている。そんな展開だと読み手をひきつけることが分かった。</p> <p>-----</p> <p>これまでの学習から自分の評論に使いたいことを整理している。</p>	<p>■評論を「読む」ことで見つけることができた評論の「書く」ポイントを整理させる。</p> 
<p>実行、振り返り（3）</p>		
<p>パフォーマンス課題 評論「君は〇〇を知っているか」を書く。</p>		
<p>評論で伝えたい内容を3つ程度に絞り、具体的な情報を整理してレイアウトを考える。</p>	<p>○私は「劇団四季」の評論を衣装・舞台装置・演出の3つの特徴をあげて書きたいのだけれど作品ごとに整理するか特徴ごとに整理するかで悩んでいるの。</p> <p>○例えば、どういう作品が挙げられるの？</p> <p>○「キャッツ」では、猫が客席まできてくれる演出が魅力で、「美女と野獣」では、衣装の豪華さが魅力だと思うんだよね。</p> <p>○なるほど、読み手としたら『「衣装」の豪華さで目を引く作品は『美女と野獣』です。』と書いてストーリーも説明してほしいな。</p> <p>○たくさんの作品の中で私流の視点で特徴と作品のストーリーをセットで紹介してみる。</p> <p>○僕は、花火を取り上げ、その構造、歴史、事故について、根拠を示しながら論じ、自分の考えを書いてみたい。</p>	<p>学習したことを生かして、評論を書く活動</p>
<p>ペアで、自分の評論の3つの内容とレイアウト案をお互いに説明し合い、アドバイスし合う。</p>	<p>-----</p> <p>評論について学んだことを自分の書く評論に活用しようとしている。</p>	<p>■実際に評論「君は〇〇を知っているか」を書くための情報収集・整理分析の時間を設定し、ペアトークを通して、自分の評論の内容は、読み手に伝わるのかを客観視させる。</p>
<p>評論を交流し、お互いの作品を評価し合う。</p>	<p>【夏休みの課題として評論を書く】</p>	<p>■授業で情報収集、整理分析までを行い、夏休みの課題として評論の冊子をつくらせる。</p>
<p>評論を書くことで付いた資質・能力や他に活用できる力について振り返る。</p>	<p>○Aさんの評論は、自分の花火に対する見方や考え方を、根拠を丁寧に示しながら書いているね。</p>	<p>■自分たちが見つけた評論のポイントを使って評価し合い、互いのよさに気付かせると共に、評論を書くことで気付いた資質・能力について振り返らせる。</p>
<p>-----</p> <p>友達の評論を評価しながら読むことで、評論に必要な要素を改めて確認している。</p>	<p>-----</p> <p>○私は評論を書く上で、読み手は何を知りたいのかを考えながら内容や書く順番を考えました。好きなものを書くからどんどん考えを膨らませることができました。これまで書いてきた紹介文とは違った作品になったと思います。相手を意識して話したり書いたりすることに役立つと思います。</p>	

■ **【児童生徒の変容】**

説明文に関する読解に苦手意識をもった生徒が多くいたが、初めて学習した評論「君は『最後の晚餐』を知っているか」という作品のもつ妙味と知識構成型ジグソー法による問題解決型の授業を通して、評論を読みながら評論を書くために必要な視点を自分たちでつかむことができたと思う。夏休みのパフォーマンス課題として「君は〇〇を知っているか」を先生や保護者などの大人が読むという設定にすることで、自分たちの好きな世界を大人にどう読ませるかという相手意識とこれまで書いてきた説明文や紹介文・鑑賞文とは違う目的意識をもって書くことを体感できたのではないかと考える。また、好きなテーマだからこそ主体的に情報を収集し、工夫しながら書くことを楽しめたと言える。評論を書くことで、相手に伝えるために必要なことは驚き・感動・共感であることに気付き、そのものの魅力を伝えるための論理的・建設的批判能力を育むことができたと考えている。